

土田 河合 真澄 編

上方雜言本

八

古典文庫

土田 河合 真衛
編

上方雜言本

八

古典
文庫

古典文庫第四二二冊◎

不許複刻

昭和五十六年十一月二十日印刷発行

非売品

本言狂方上
八

編者

土田 河合 眞澄 衛

発行者 吉田 幸一

印刷者 白橋印刷所

発行所

114

東京都北区西ヶ原
三ノ三四ノ一二

古典文庫

電話(九一〇)二七一七
振替口座東京九・一四五九七番



けいせい寝覚関 (表紙)



けいせい寝覚関 (二才)

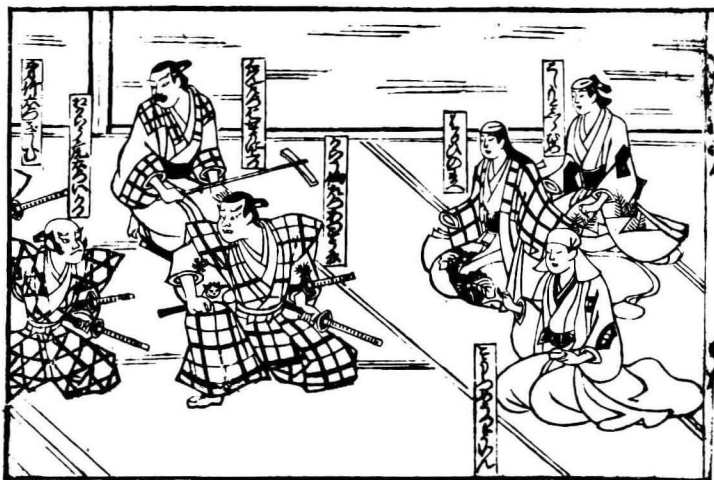
張子

QUESTION

(三才)



第二圖 (五才)



けいせい寝覚関 第三図 (九ウ)



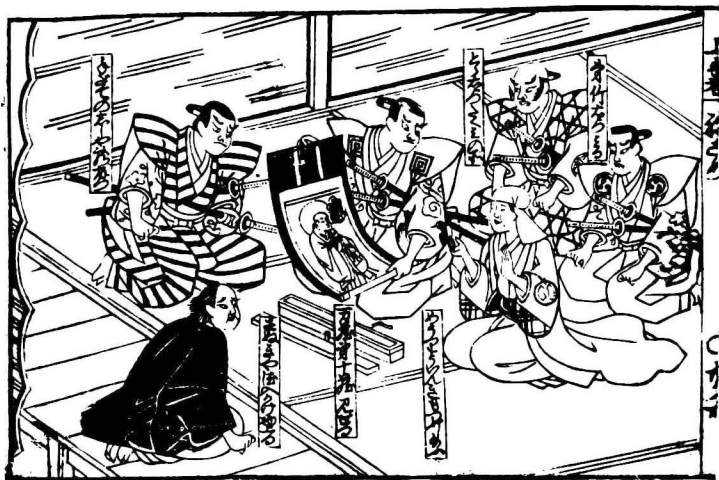
けいせい寝覚関 第五図 (十四ウ)



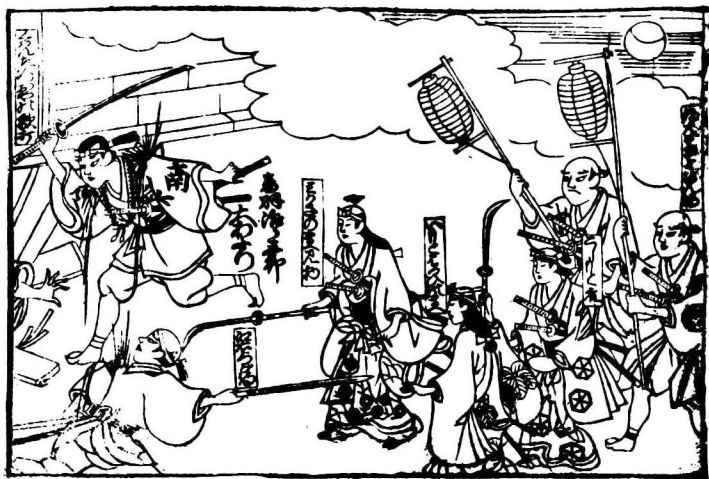
けいせい寢覚関 第四図 (十才)



けいせい寢覚関 第六図 (十五才)



けいせい寢覚関 第七図 (廿ノ卅ウ)



けいせい寢覚関 第九図 (卅六ウ)



けいせい寝覚関 第八図 (卅一才)



けいせい寝覚関 第十図 (卅七才)



なごや山三上藤雛 （表紙）

御前上りまゝ

并和の七戦をまゝとありの縁を和

津後者敵

全和五

付和者必を和の縁を和

并和七戦をまゝとありの縁を和

世間容氣

全和五

付和者必を和の縁を和

并和七戦をまゝとありの縁を和

和漢林女容氣

全和五

付和者必を和の縁を和

右三又九月二日より

和の七戦をまゝとありの縁を和

并和の七戦をまゝとありの縁を和

世間仁氣質

全和五

付和者必を和の縁を和

并和七戦をまゝとありの縁を和

野白文敵

全和五

通国仁氣質

全和五

西川筆九海

全和五

付和者必を和の縁を和

并和七戦をまゝとありの縁を和

各々様 和の七戦をまゝとありの縁を和

少

上福雛

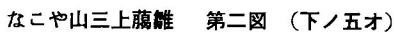
又

[illegible]

卷之五

なこや山三上藤雄 (ケノ三才)

お徳よりぞくけの
せいのちを武乃の
方よとすはらひに
ござぬ御座せあり三
のかりまてけいせいと
さねまゝとすねはなば
らんではひからず
あがうちはとぬつ
ふんそ大じんやう作
るふあゆむそのほ
かめとのほうふつ
またゆきつとそまぶ
ものお供ふあゆみ
先におつとりて遠く
に安がうやとあつて
より二たかり平々々と
ついに月のまぎれをわ
るるわがれりやと



上 教匠 大勝寺平を
 名をふりぬめさきそ
 くさ事二れりのつひほ
 存を相ささうんびん
 ぞれおまゝぬわぬわ
 ありのよりい男さつと
 やうひちういふおま
 うへはあせかさまりま
 上のされおふまされ
 びふはまのりま
 るうそれとあまふ
 ほまきさあふそ
 又れささふさ
 とう上々の揚ちあふく
 上 教匠 八達寺より
 ゆきやてとさうし
 名をふりぬめさきそ
 と向くのひやうん
 かうくばさきま
 けふさふはさうのやれ



なこや山三上藤雛 第三図 (下ノ八ウ)